

和田征也選手 低学年個人 四国選抜寺西杯 3位、野市大会 2位 第5回 土佐町剣道交流大会 忘年会 大成功

年が開け、早くも1ヶ月たちました。

昨年は、11月の大会で和田征也選手が大活躍でした。寺西杯は、四国の強豪チームが顔をそろえる大会、野市大会は、少年剣道の大会では県下最大の大会です。そうした大会での入賞は大変立派でした。

また、土佐町剣道交流大会には、保育園児から一般までの選手が参加して楽しく開催ができました。初心者も、面打ちの判定試合と補助棒による試合をしましたが、基本打ちはすごく立派で多くの人をうならせていました。団体戦は、7人制で小学生から大学生までが団体を組み9チームで戦いました。その後は、恒例の親子対抗戦、8組の親子が熱く楽しく戦い、子供の5勝1敗2分でしたが保護者も大善戦でした。土佐町という小さな町で、こうして年代を超えてチームを組み、また親子が試合をする大会を開催できることを本当に嬉しく誇りに思います。そして、夜は小学、中学、高校の校長、教頭を迎えての忘年会に120名が参加して盛大に行うことができました。本当に楽しい一日でした。(お昼の豚汁ありがとうございました)

また、昨年は保護者会による、ソーメンの販売、産業文化祭での出店、委託事業の草刈をしていただき強化運営費もだいぶ充実をして参りました。

そして、なんと言っても今年は「石原教室のはじまり」です。週1日ではありますが、12名の子供たちは、あの寒い石原の体育館で一生懸命稽古に励んでいます。「習うのは、週1回、でも練習は週7回してください」と家庭での自主練習をするようにしており、これができれば、十分試合でも通用すると思います。

忘年会の挨拶でも申しましたが、わたしが思うのは「毎年、毎年土佐町少年剣道は成長し広がりを見せ充実してきています。また、中学校、高校も年々充実を見せています。それが、今年も果たして成長が続いていくのだろうか、逆に県下の多くの少年剣道のように衰退していくのではないだろうか。」といったことを毎年考えます。しかし、その年が終わってみれば、「今年も充実した今までで最高の1年だったな」と言っています。今年も、保護者、指導者、子供たちが一緒になって、この土佐町少年剣道を土佐町の剣道を盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

